

英語教育推進事業

- ・国際化が進展する中、国際共通語である英語力の向上が極めて重要である。
- ・特にコミュニケーション能力は課題であり、外国語を日常的に使うことが増える2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据え、その能力を高める必要がある。

2020年～ 小学校5, 6年生 英語教科化
小学校3, 4年生 外国語活動

活動型

- 目標: 「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション能力の素地を養う
- 学級担任を中心に指導

年間35単位時間(週1コマ程度)



教科型(高学年)

- 「聞く」「話す」に加え、「読む」「書く」の育成も含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。
- 学級担任が専門性を高め指導、併せて専科指導を行う教員を活用、ALT等を一層積極的に活用

教科として系統的に学ぶため、効果的な「繰り返し学習」としてモジュール学習も活用

年間70単位時間

活動型(中学年)

- 目標: 「聞く」「話す」を中心としたコミュニケーション能力の素地を養う
- 主に学級担任がALT等を一層積極的に活用したT・Tを中心とした指導

年間35単位時間

米原市では・・・

市内の小学校において教育課程の特例として英語科を新設・先行実施し、英語教育の充実による子どものコミュニケーション能力の育成および国際交流も含めた国際理解教育の推進を図る。

- 2017 モデル実施校 5校 (柏原小・大原小・山東小・伊吹小・春照小)
- 年間を通じて小中学校にALT, MGTを配置し、より効果的な活用を図る

